

# 大阪府における宿泊施設の状況について

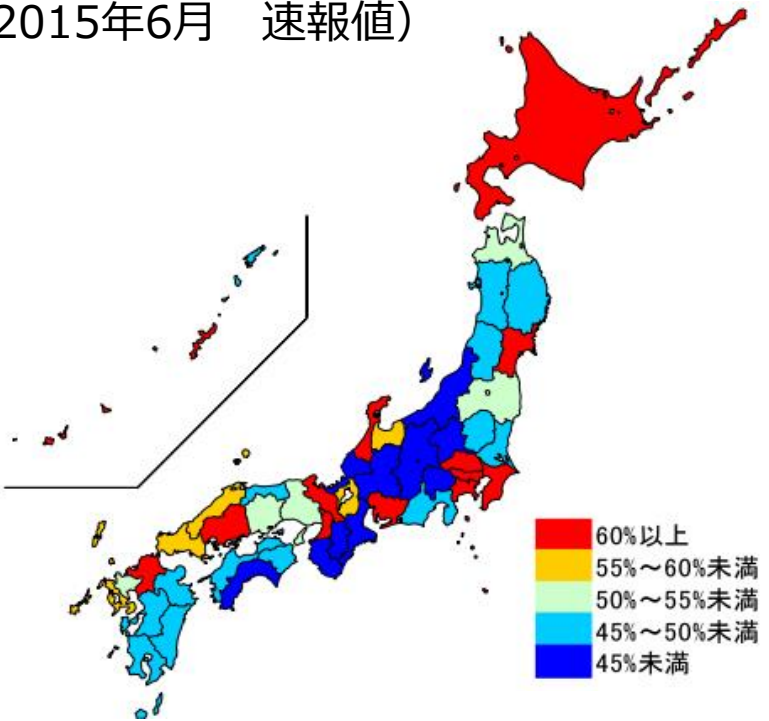
大阪の宿泊施設稼働率は昨年から高水準で推移しており、解消に向けた取り組みが急務となっている。

外国人旅行者の宿泊需要が急激に高まる中、地域・季節によっては、ホテル・旅館等の宿泊施設の供給が逼迫することが懸念される。このため、こうした宿泊需要に弾力的に対応し、年間を通して宿泊施設の十分な供給確保を図ることが重要である。

- 受入れ能力に比較的余裕のある「旅館」と「地方部」への誘客を一層強化するほか、外国人に人気のあるゲストハウス等の多様な宿泊施設の活用を図る。
- ホテル・旅館等の宿泊需給が逼迫する場合への対応として、イベント開催時に一時的に自宅等を提供する場合の運用の緩和や小規模の農林漁業民宿に係る構造設備基準の特例措置の対象の拡大を行う。なお、インターネットを通じ宿泊者を募集する一般住宅等を活用した民泊サービスについては、新たなビジネス形態であることから、まずは、関係省庁において実態の把握等検討を行う。

「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015」より抜粋

## 都道府県別客室稼働率 (2015年6月 速報値)



## 宿泊施設タイプ別 稼働率ランキング

	全体	旅館	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	簡易宿所
1	<b>大阪府 (83.8)</b>	東京都 (58.3)	<b>大阪府 (84.9)</b>	<b>大阪府 (86.8)</b>	<b>大阪府 石川県 (85.8)</b>	<b>大阪府 (62.0)</b>
2	東京都 (79.7)	石川県 (50.9)	奈良県 (83.9)	東京都 (84.1)	※同率1位	東京都 (57.3)
3	千葉県 (68.3)	北海道 (48.3)	千葉県 (80.4)	兵庫県 (81.4)	京都府 (84.8)	愛知県 (50.6)
4	京都府 (68.1)	佐賀県 (47.7)	東京都 (78.4)	北海道 (80.9)	北海道 (84.5)	神奈川県 (49.7)
5	愛知県 (67.7)	京都府 (46.5)	沖縄県 (74.5)	京都府 (80.7)	福島県 (84.3)	山口県 (46.1)
6	沖縄県 (67.4)	<b>大阪府 (46.1)</b>	福岡県 (65.3)	福島県 (80.6)	千葉県 (84.0)	宮城県 (41.3)

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

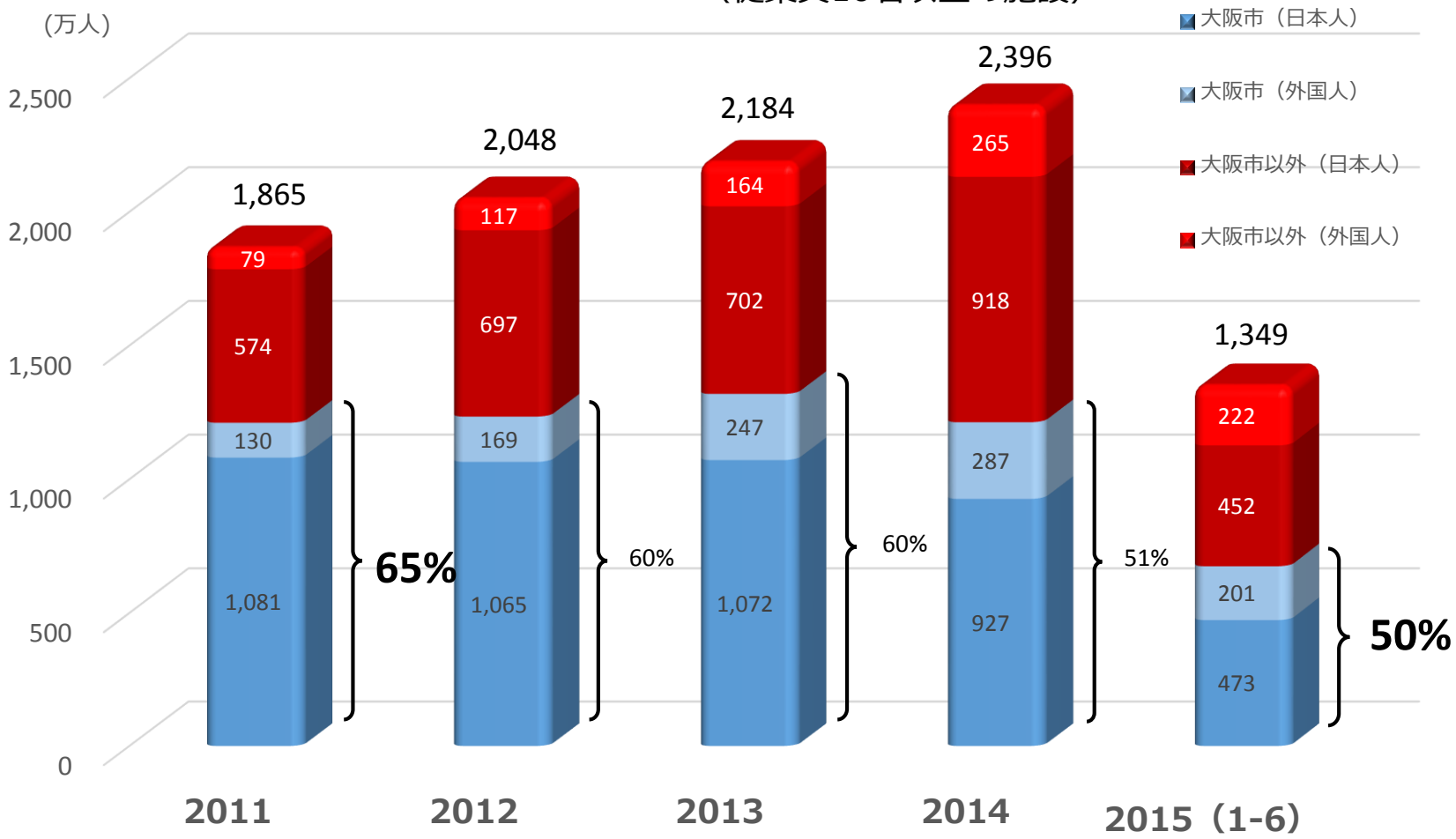
# 大阪府における宿泊施設の状況について

報道発表資料  
2015.9.8  
大阪観光局

2011年以降、大阪府内の宿泊者数は増加傾向にあるが、中規模以上の宿泊施設に限れば、大阪市内の占有率は低下。府下全体への分散傾向がみられる。  
 →①大阪府内他地域への観光需要の高まり  
 →②大阪市内宿泊施設の容量不足

## 大阪府下「延べ宿泊者数」の推移

(従業員10名以上の施設)



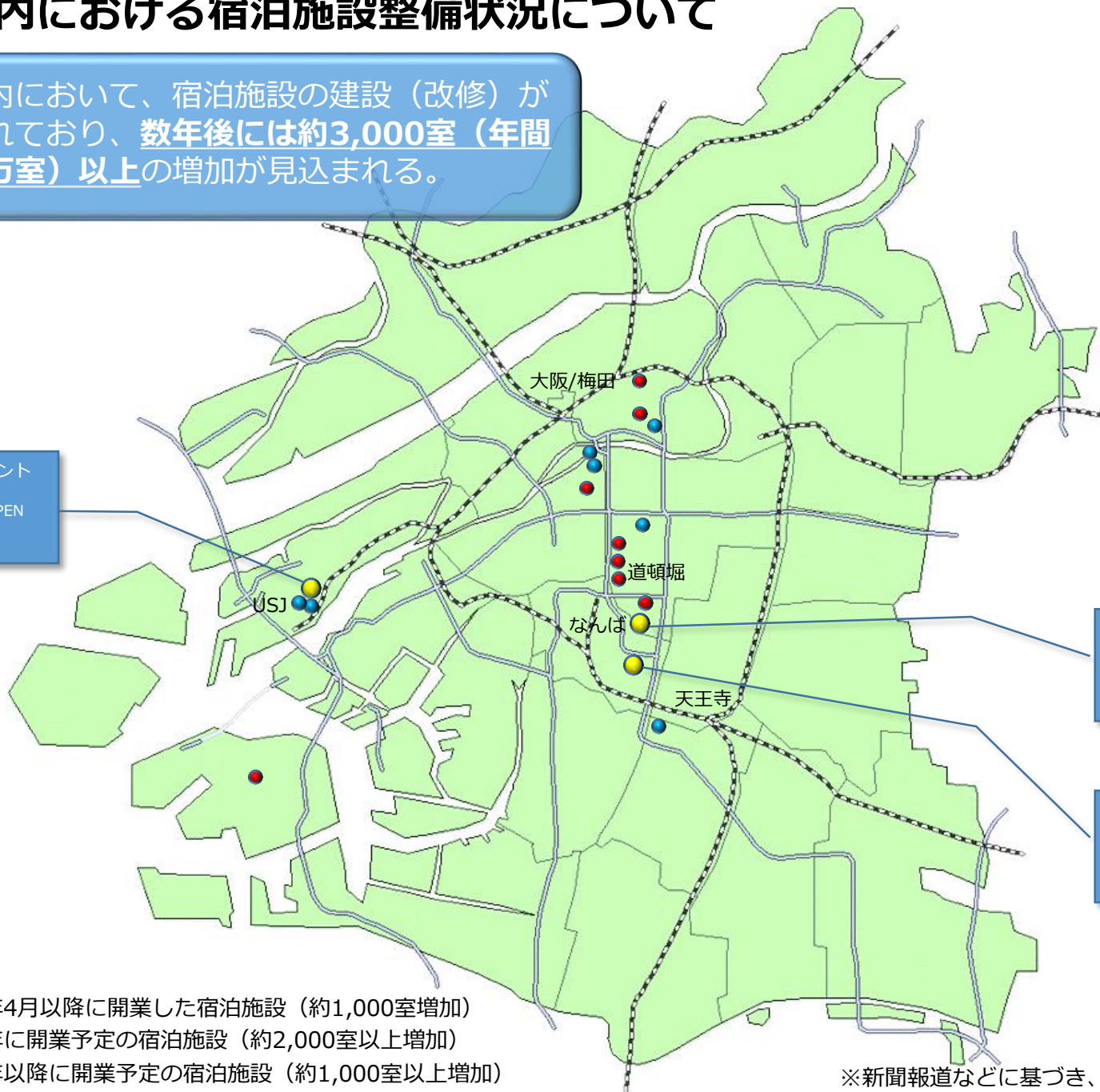
※観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づき、大阪観光局作成

# 大阪市内における宿泊施設整備状況について

報道発表資料  
2015.9.8  
大阪観光局

大阪市内において、宿泊施設の建設（改修）が予定されており、**数年後には約3,000室（年間約110万室）以上の増加が見込まれる。**

ザ・パークフロント  
ホテル  
2015年8月1日OPEN  
**598室**



東横インなんば日本橋  
2015年7月27日OPEN  
**238室**

東横イン大阪通天閣前  
2015年5月25日OPEN  
**179室**

- 2015年4月以降に開業した宿泊施設（約1,000室増加）
  - 2016年に開業予定の宿泊施設（約2,000室以上増加）
  - 2017年以降に開業予定の宿泊施設（約1,000室以上増加）
- （※いずれも、既存施設の改修、増築を含む）

※新聞報道などに基づき、大阪市・大阪観光局作成  
（計画が変更となる可能性があります）